

「物」と「感動」を売る

農業生産法人(有)トロピカルファームたまぐすく代表取締役

大城 浩明



がら二一ーズにあつた物を生産する励みになつてゐる。

このよつな背景もあつて今後流通は大量集荷と大量販売の中央卸売市場流通と直売所流通の一大流通に変化していくものと思われる。

今までの農家の経営形態は単なる「物の生産」だけで、「販売」は第三者に任せるとこゝの長年の慣習があつたが、

近年は農家自ら生産や販売、そ

わゆる農業体験や農家民宿の受け入れの他、料理体験を受け入れる等、自らの資源（農地、作物、人、料理等）を生かした経営形態に変化してきている。「物」の販売の他に、「感動」が体験料としてお金になる時代である。

また、消費者は作り手の顔の見える農産物を求める傾向にあつて全国的に農産物直売所（以下「直売所」とこゝ）が増えて、作り手の農家と語らいな

年連絡の途絶えていた友人同士で、昔話に花が咲いた例もある。

最近直売所を訪れる観光客も増加の一途を辿つていて、沖縄の珍しい野菜や果物を買い求めの他、マンゴーやパパイヤ等の熱帯果樹の苗木を買って植付した数年後にリピーターとなつて

シヨン機能や、昔ながらの公益の機能があつて大変面白い。

ヨリヨリケーション機能には、生産者と消費者が直売所と

いう場所を通して生産者の生産物に対するこだわりや苦労話が消費者に伝わり、消費者から生産者へ生産物に対する評価（誰々さんの野菜が欲しい等）や工夫した食べ方等が伝わる等お互いに有益な時間を過ごしているのが垣間見られる。面白い

ヨリヨリケーションとして、消費者がいつも買い求めている農家の野菜が店頭にないことから生産農家へ電話連絡し届けて貰つたら、その農家と注文した消費者が長

その他直売所においては、新規就農者の育成や地域の子供たちの農業及び職場体験受入の実施しているところもあつて、定年退職された方々や「あたい

ぐあー（猫の額程度の畑）農業」のお年寄りの就農機会の場を提供し、地域の方々から大変喜ばれていて、私ども法人も微力ながらその一翼を担つてゐる。

末尾にこの度、栄えある内閣

府沖縄総合事務局長賞」を受賞しましたが、これは私どもと一緒に取り組む方々への表彰だと考へてゐる。今後の沖縄の一層の振興、発展に資することを目的として創設されたことに創設者の熱い思いが伝わつてきて、私どもにとつてはとても励ましに残つてゐる。

農業専門の新聞社の調査によると、直売所が地域にできるとお年寄りの通院回数が減つて医療費の抑制になるという結果も

なる賞であり、今後とも更なる地域づくりに邁進する所存である。

（平成21年度沖縄振興功績者表彰被表彰者）